

伏古本町・札幌地区 学校配置検討委員会ニュース

2024年5月 発行

伏古本町・札幌地区では、伏古小学校と東苗穂小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」を設置し、検討を進めています。

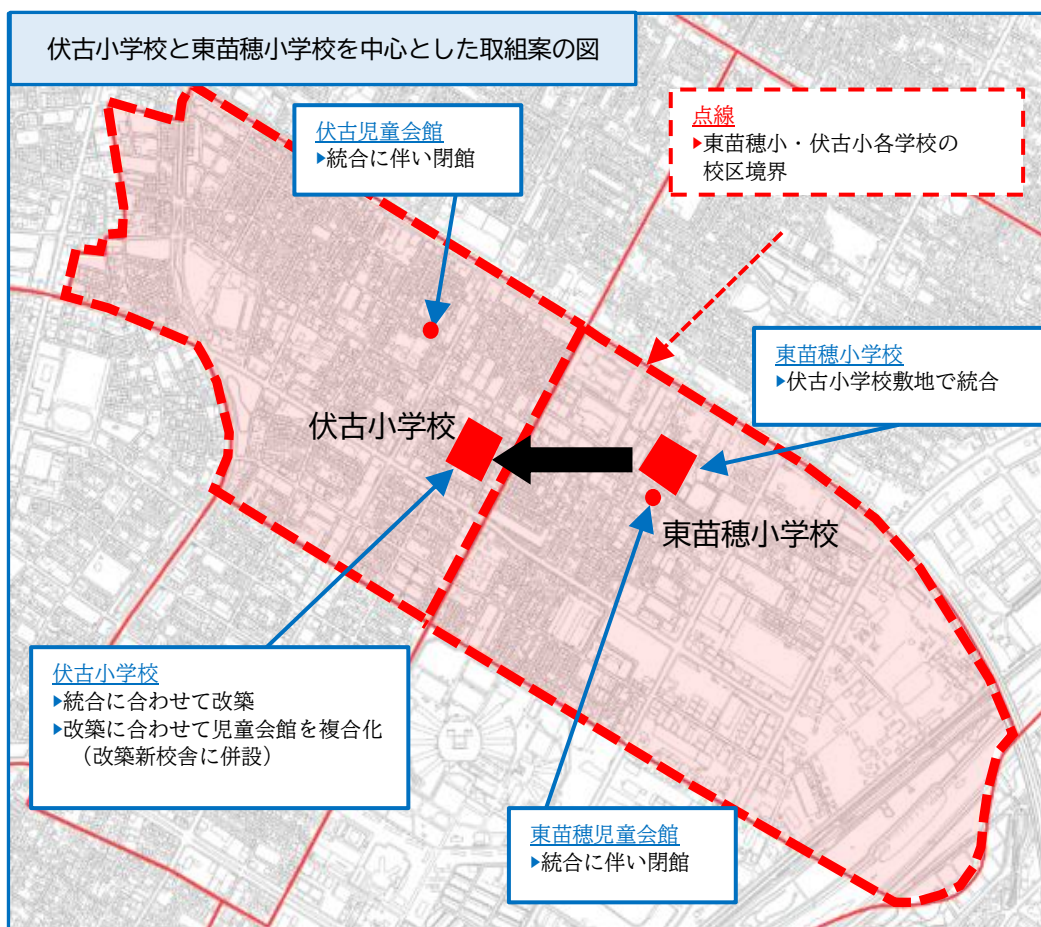
検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のウェブページに掲載しています。
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/fusikohoncho-satsunae.html>



※ 第4回検討委員会の後、第5回検討委員会開催までの期間に地域から意見が寄せられており、第5回の資料として検討委員会内で共有（内容確認）しています。

札幌市と教育委員会は、「学校配置検討委員会」（以下「検討委員会」といいます。）で協議を進めるためのたたき台となる「取組案」を作成し、第1回検討委員会（令和5年2月2日開催）において提示し、これまで検討を続けております。

このたび、令和6年2月26日に開催した第5回検討委員会では、「小規模化による課題の解決のため、東苗穂小学校と伏古小学校を現在の伏古小学校敷地で統合することが必要」という結論に至りました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせします。



「取組案」や検討委員会における協議の内容について、ぜひご意見をお寄せください。

1. 第5回検討委員会について

前回（第4回）の検討委員会では、これまでに検討委員や地域・保護者から寄せられた意見をまとめた資料に基づき、今後の協議の方向性について、検討委員会内における共通認識を持つため、「取組案における課題の整理」を協議事項としました。

第5回の検討委員会では、前回に引き続き「取組案における課題の整理」について協議を行いました。

委員からの意見や質疑応答について、以下に概要を掲載しています。

※ 類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

「○」…委員からの意見 「●」…質問等 「⇒」…委員、札幌市・教育委員会からの説明、回答

2. 取組案における課題の整理について

(取組案・学校統合について)

○これまで開催してきた4回の検討委員会の中で、様々なことに関する協議を行ってきた。
本日の協議では、結論の方向性についてめどを立てたいと考えている。

○取組案のとおり進めるとした場合には、東苗穂小学校の児童の気持ちを考慮し、統合後の校名については、伏古小学校ではなく、新たな校名としてほしい。

⇒現時点において、伏古小学校という名称のまま統合するという事は決定していない。統合校の校名については今後の検討事項としたい。(教育委員会)

○東苗穂小学校が閉校となる前に、校舎にペイントするなど思い出づくりの機会がほしい。

⇒学校運営については、あくまでも学校の判断・責任において行うべきものであり、この検討委員会内で詳細の方針を決めてしまうことには抵抗感がある。その点は、これからの学校に任せて、独自の教育活動、思い出づくりのための取組みとして、果たして何ができるのかを考えてもらうという方が良いのではないか。(委員)

⇒統合に向けた具体的な検討が進む段階において、検討委員会で委員から挙げられた「参考としてもらいたい意見・アイデア」として、今後、学校に共有することはできると考える。
(教育委員会)

○その他意見がなければ、取組案のとおり、東苗穂小学校と伏古小学校を現在の伏古小学校敷地で統合するという方向に進んでも良いのではないか。

⇒取組案のとおり、小規模化による課題の解決のため、東苗穂小学校と伏古小学校を現在の伏古小学校敷地で統合することが必要ということを協議結果として良いか。(教育委員会)

⇒良い。(多数委員)

(学校跡活用について)

- 学校跡地の活用は、どの時点から検討を開始するのか。またどのようなメンバーで検討することになるのか。

⇒跡活用の検討については、検討委員会の中で統合することが決まった次の段階の検討事項になると思われる。別の協議体を設けて検討した方が良いのかも含め、今後検討していく必要がある。(教育委員会)

⇒跡活用の具体的な検討については、別協議体で行うこととなるかもしれないが、札幌市役所における利用の有無や民間活力の導入を視野に入れた売却など、活用の方向性は学校配置検討委員会の協議事項としていただきたいと考えている。(教育委員会)

⇒活用の方向性に関する協議の前に、次回、学校跡活用の過去事例や検討の進め方について担当部署から説明したい。(教育委員会)

○能登半島地震のこともあり、避難所が無くなるのが心配である。

○東苗穂小学校の跡活用を検討する際には、東苗穂小学校区の住民の意見が反映されるような人選を行ってほしい。

【協議結果】

- ◆取組案のとおり、東苗穂小学校と伏古小学校を現在の伏古小学校敷地において統合し、校舎の改築に併せて児童会館を複合化することが望ましいという結論に至った。
- ◆東苗穂小学校の跡活用については、札幌市役所内部の活用意向を調査・確認した上で、売却を含めた活用方法の方向性を検討していく。
- [継続協議事項] 統合校の校名変更については、今後も検討を行っていく。

3. 意見書の内容検討について

前述のとおり、検討委員会では、「取組案における課題の整理」に関する協議を経て、「小規模化による課題の解決のため、東苗穂小学校と伏古小学校を現在の伏古小学校敷地で統合することが必要」という結論に至りました。

この検討委員会におけるこれまでの協議結果を意見書として教育委員会に提出するにあたり、学校改築を伴う過去の学校規模適正化(学校統合)の事例である「南区石山地区における学校規模適正化に関する意見書(写)」と教育委員会から示した意見書(素案)を参考としながら、意見書に盛り込む内容のイメージについて協議しました。

○過去に提出された意見書を見ると、統合校よりも近い学校を選択して通えるよう柔軟に対処することを求めている記載がある。東苗穂小学校の校区内には、伏古小学校よりも札幌小学

校の方が近い地域もあるため、通う学校を選択できるようにすることも考えた方がいいのではないかと。

⇒通学安全の観点から、札幌新道を渡らせて通学させることが適しているかも含めて今後協議いただくこととしたい。(教育委員会)

【協議結果】

- ◆次回以降は、協議結果を教育委員会に提出するための意見書の内容検討を行う。
- ◆東苗穂小学校の校区内には、伏古小学校よりも札幌小学校の方が近い地域もあるため、通う学校を選択できるような配慮が必要か通学安全の観点も含めて検討を行う。

4. 次回の検討委員会（第6回）について

- ▶開催日時 令和6年(2024年)6月21日金曜日 16時00分から
- ▶開催場所 伏古記念会館（東区伏古7条2丁目8番15号）

※ 検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやウェブページでお知らせいたします。また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回（第6回）検討委員会の議題（予定）

- ・第5回検討委員会の振り返り ・地域や保護者の皆様から寄せられたご意見等の紹介
- ・教育委員会に提出する意見書の内容検討
- ・これまでの取組事例を参考とした学校跡活用に関する検討
- ・その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

伏古本町・札幌地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課（学校配置マネジメント担当）
- ▶電話：011-211-3836 FAX：011-211-3837
- ▶e-mail：gakkohaichi@city.sapporo.jp

検討委員会の配布資料等は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/fusikohoncho-satsunae>

学校規模適正化 伏古本町・札幌

検索



さっぽろ市
02-S01-24-1026
R6-2-769
SAPPORO